

# YMアセット・ オーストラリア 好配当資産ファンド

追加型投信／海外／資産複合

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	2017年9月15日から、2022年9月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ) ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) の受益証券
運用方法	①主として、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券を通じて、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 なお、リアルアセット関連有価証券とは、以下の有価証券をいいます。 イ) リート ロ) 上場インフラファンド ハ) リアルアセットを保有または運営する企業の株式 ※1 「リアルアセット」とは、使用料や賃料等のキャッシュフローを生み出すインフラ関連施設や不動産等の実物資産をさします。 ※2 ニュージーランドのリアルアセット関連有価証券にも投資することがあります。 ②オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、配当の成長性および継続性、利益成長性、収益基盤の安定性等に着目し投資を行ないます。 ③オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行ないません。 ④この投資信託は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) とダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) などとし、原則として、継続した分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

## 運用報告書 (全体版)

第6期 (決算日 2019年3月20日)

第7期 (決算日 2019年6月20日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド 愛称：トリプル維新 (リアルオージー)」は、このたび、第7期の決算を行ないました。

ここに、第6期、第7期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



Yamaguchi  
Financial Group

ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

お問い合わせ先 083-223-7124

(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <http://www.ymam.co.jp/>

## 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率		
(設定日)	円	円	%		%		%	%	百万円
2017年9月15日	10,000	-	-	10,000	-	10,000	-	-	1,757
第1期末(2017年12月20日)	10,194	60	2.5	10,361	3.6	10,642	6.4	99.1	5,104
第2期末(2018年3月20日)	9,102	60	△10.1	9,802	△5.4	9,443	△11.3	99.0	4,812
第3期末(2018年6月20日)	9,563	60	5.7	10,107	3.1	10,066	6.6	98.8	4,762
第4期末(2018年9月20日)	9,751	60	2.6	10,290	1.8	10,725	6.6	99.0	3,712
第5期末(2018年12月20日)	9,517	60	△1.8	9,376	△8.9	10,472	△2.4	99.0	3,574
第6期末(2019年3月20日)	10,256	60	8.4	10,292	9.8	11,468	9.5	99.0	3,238
第7期末(2019年6月20日)	10,521	60	3.2	10,386	0.9	11,576	0.9	99.0	2,516

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに、S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとにワイエムアセットマネジメントが円換算し、当ファンド設定日を10,000として計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) およびS & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

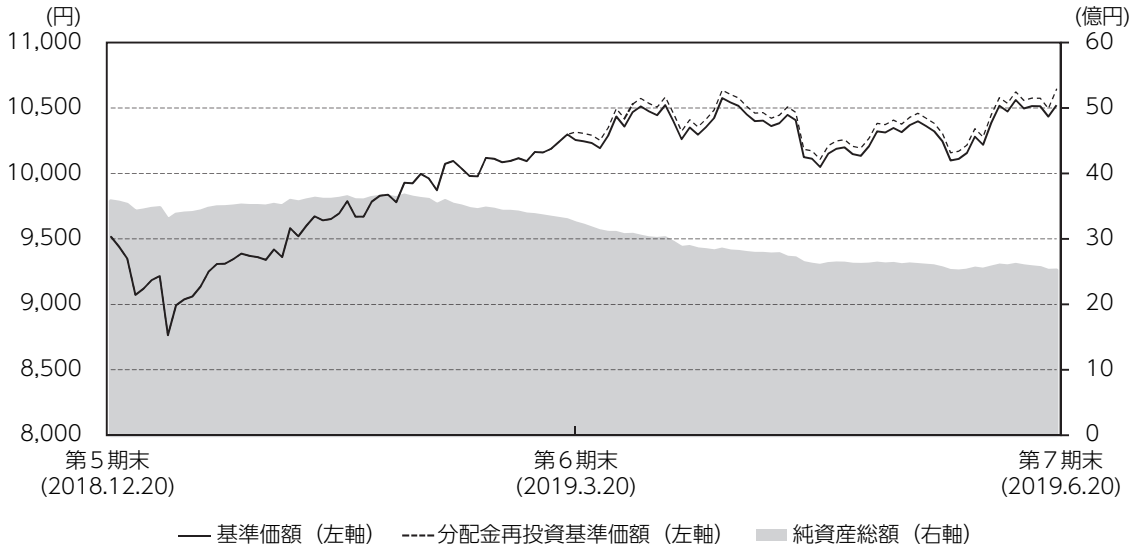
## 当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第6期	(期 首) 2018年12月20日	9,517	—	9,376	—	10,472	—	99.0
	12月末	9,184	△ 3.5	8,954	△ 4.5	10,142	△ 3.2	98.7
	2019年 1 月末	9,601	0.9	9,582	2.2	10,804	3.2	99.1
	2 月末	10,039	5.5	10,180	8.6	11,080	5.8	99.1
	(期 末) 2019年 3 月20日	10,316	8.4	10,292	9.8	11,468	9.5	99.0
第7期	(期 首) 2019年 3 月20日	10,256	—	10,292	—	11,468	—	99.0
	3 月末	10,359	1.0	10,092	△ 1.9	11,549	0.7	99.0
	4 月末	10,448	1.9	10,581	2.8	11,497	0.3	99.0
	5 月末	10,246	△ 0.1	10,343	0.5	11,327	△ 1.2	99.0
	(期 末) 2019年 6 月20日	10,581	3.2	10,386	0.9	11,576	0.9	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

## 基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

## ■基準価額・騰落率

第6期首：9,517円

第7期末：10,521円（既払分配金120円）

騰落率：11.8%（分配金再投資ベース）

## ■基準価額の主な変動要因

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇したことがプラスに働き、基準価額は上昇しました。各国中央銀行がハト派寄りの姿勢を示したことを受けて、長期金利は低下傾向となり、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は堅調に推移しました。一方、弱いインフレ動向などを背景にRBA（オーストラリア準備銀行）による利下げ観測が広がり、オーストラリア・ドルが対円で下落したことはマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 投資環境について

### ○オーストラリア・リアルアセット（※）市況

第6期首から2019年3月にかけては、1月にF R B（米国連邦準備制度理事会）議長が今後の利上げについて慎重姿勢を示したことや、2月にR B A総裁が今後の金融政策についてより慎重な姿勢を示したこと、3月にE C B（欧州中央銀行）総裁が金融緩和を継続する姿勢を強く示したことなどから、先進国を中心に長期金利は下落し、リートやインフラ銘柄は上昇しました。4月から5月半ばにかけては、年初から低下を続けてきた長期金利が一時反発したことや、トランプ米国大統領が対中関税引き上げを発表したこと、一部で金利引き下げ観測がある中R B Aが政策金利を据え置いたことなどから、リートやインフラ銘柄は上値の重い展開となりました。5月後半から当作成期末にかけては、オーストラリアの総選挙において、事前の世論調査では劣勢が伝えられていた与党が勝利したことや、R B Aが利下げを実施したことなどを受けて、リートやインフラ銘柄は堅調に推移しました。

※リアルアセットは、リート、上場インフラファンド、株式を含みます。

### ○為替市況

第6期首から2019年1月初めにかけては、米中貿易摩擦への懸念の高まりや世界経済の減速懸念、欧州の政治リスクなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、オーストラリア・ドルは円に対して大きく下落しました。1月半ばから4月前半にかけては、各国中央銀行がハト派寄りの姿勢を示したことを受けて投資家のリスク回避姿勢が後退し、オーストラリア・ドルは円に対して上昇する展開となりました。4月後半から当作成期末にかけては、オーストラリアの2019年1－3月のC P I（消費者物価指数）が市場想定よりも低い数字だったことから、R B Aによる利下げ観測が広がったことや、実際に6月にR B Aが利下げを実施したことなどから、オーストラリア・ドルは対円で下落傾向となりました。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）とダイワ・マネーポートフォリオ（F O F s用）（適格機関投資家専用）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券を高位に組み入れました。

### ○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、シドニー都心に近く、良好なアクセスを持つシドニー空港を運営するSYDNEY AIRPORT（資本財・サービス）、オーストラリアで都市部を中心に大型のショッピングモールを運営するSCENTRE GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

### ○ダイワ・マネーポートフォリオ（F O F s用）（適格機関投資家専用）

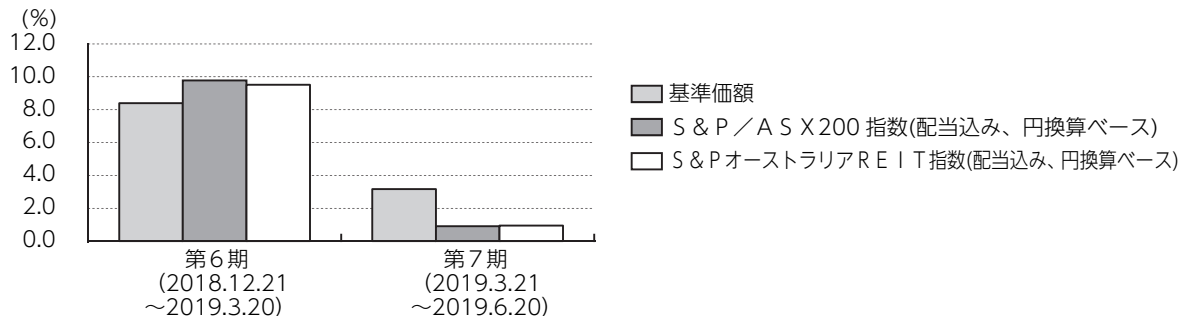
流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）およびS & PオーストラリアREIT指数（配当込み、円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第6期は60円、第7期は60円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第6期	第7期
	2018年12月21日 ~2019年3月20日	2019年3月21日 ~2019年6月20日
当期分配金（税込み）（円）	60	60
対基準価額比率（%）	0.58	0.57
当期の収益（円）	60	60
当期の収益以外（円）	-	-
翌期繰越分配対象額（円）	415	663

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税込み）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税込み）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「翌期繰越分配対象額」は、当期の分配金支払い後の「経費控除後の配当等収益」、「経費控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買損益」、「分配準備積立金」、「収益調整金」の合計であり、基準価額を上回る場合があります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第6期	第7期
(a) 経費控除後の配当等収益	86.82円	207.13円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	100.55
(c) 収益調整金	50.62	52.65
(d) 分配準備積立金	337.59	362.67
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	475.03	723.00
(f) 分配金	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	415.03	663.00

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 今後の運用方針

### ○当ファンド

オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

### ○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。そのため、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資することがあります。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第6期～第7期		項 目 の 概 要
	(2018年12月21日～2019年6月20日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	47円	0.470%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 <b>期中の平均基準価額は10,009円です。</b>
（投信会社）	(19)	(0.188)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(27)	(0.269)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	48	0.476	

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2018年12月21日から2019年6月20日まで)

決算期		第6期～第7期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
国	オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	57,934.508	58,000	1,349,458.776	1,398,000
内	ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	-	-	-	-

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表  
国内投資信託受益証券

銘柄	第7期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	2,356,335.067	2,489,703	
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	1,103.11	1,098	
合計	2,357,438.177	2,490,801	<99.0%>
	金額	2,357,438.177	
	銘柄数 <比率>	2銘柄	

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年6月20日現在

項目	第7期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	2,490,801	96.7
コール・ローン等、その他	86,326	3.3
投資信託財産総額	2,577,128	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年3月20日)、(2019年6月20日)現在

項目	第6期末	第7期末
(A) 資産	3,335,004,030円	2,577,128,772円
コール・ローン等	39,986,387	31,326,775
投資信託受益証券(評価額)	3,207,017,643	2,490,801,997
未収入金	88,000,000	55,000,000
(B) 負債	96,145,481	60,384,052
未払収益分配金	18,948,220	14,352,976
未払解約金	68,951,132	39,423,795
未払信託報酬	8,153,002	6,532,672
その他未払費用	93,127	74,609
(C) 純資産総額(A-B)	3,238,858,549	2,516,744,720
元本	3,158,036,703	2,392,162,760
次期繰越損益金	80,821,846	124,581,960
(D) 受益権総口数	3,158,036,703口	2,392,162,760口
1万口当り基準価額(C/D)	10,256円	10,521円

(注) 元本状況  
期首元本額 3,756,248,840円 3,158,036,703円  
追加設定元本額 20,054,205円 13,495,400円  
一部解約元本額 618,266,342円 779,369,343円

■損益の状況

第6期 自2018年12月21日 至2019年3月20日

第7期 自2019年3月21日 至2019年6月20日

項目	第6期	第7期
(A) 配当等収益	28,313,880円	53,764,692円
受取配当金	28,319,831	53,769,565
受取利息	39	191
支払利息	△ 5,990	△ 5,064
(B) 有価証券売買損益	232,362,053	30,538,701
売買益	259,611,587	38,690,156
売買損	△ 27,249,534	△ 8,151,455
(C) 信託報酬等	8,246,129	6,607,281
(D) 当期損益金(A+B+C)	252,429,804	77,696,112
(E) 前期繰越損益金	△ 123,825,838	82,663,844
(F) 追加信託差損益金	△ 28,833,900	△ 21,425,020
(配当等相当額)	( 15,984,439)	( 12,594,024)
(売買損益相当額)	(△ 44,818,339)	(△ 34,019,044)
(G) 合計(D+E+F)	99,770,066	138,934,936
(H) 収益分配金	△ 18,948,220	△ 14,352,976
次期繰越損益金(G+H)	80,821,846	124,581,960
追加信託差損益金	△ 28,833,900	△ 21,425,020
(配当等相当額)	( 15,984,439)	( 12,594,024)
(売買損益相当額)	(△ 44,818,339)	(△ 34,019,044)
分配準備積立金	115,084,753	146,006,980
繰越損益金	△ 5,429,007	-

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。  
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。  
(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 6 期	第 7 期
(a) 経費控除後の配当等収益	27,418,350円	49,550,568円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	24,052,894円
(c) 収益調整金	15,984,439円	12,594,024円
(d) 分配準備積立金	106,614,623円	86,756,494円
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	150,017,412円	172,953,980円
(f) 1万口当り当期分配対象額	475.03円	723.00円
(g) 分配金	18,948,220円	14,352,976円
(h) 1万口当り分配金	60円	60円

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 6 期	第 7 期
1万口当り分配金（税引前）	60円	60円

<課税上の取り扱いについて>

- ・ 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・ 受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・ 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

## お知らせ

## ＜訂正のお知らせとお詫び＞

「YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド」の運用報告書におきまして、第1期から第5期に亘り、記載内容の一部に誤り（下線部が訂正箇所）がございました。

この度の件を深くお詫びいたしますとともに、下記の通り訂正いたします。

## 記

「設定以来の運用実績」および「当作成期中の基準価額と市況の推移」において、参考指数として記載している「S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）」の騰落率等を訂正いたします。

## ① 「設定以来の運用実績」（第1期（2017年12月20日）から第5期（2018年12月20日）まで）

決算期	基準価額			S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
(設定日) 2017年9月15日	円 10,000	円 -	% -	(参考指数) 10,000	% -	(参考指数) 10,000	% -	% -	百万円 1,757
第1期末 (2017年12月20日)	10,194	60	2.5	<u>正) 10,361</u> <u>誤) 10,287</u>	<u>正) 3.6</u> <u>誤) 2.9</u>	10,642	6.4	99.1	5,104
第2期末 (2018年3月20日)	9,102	60	△10.1	<u>正) 9,802</u> <u>誤) 9,598</u>	<u>正) △5.4</u> <u>誤) △6.7</u>	9,443	△11.3	99.0	4,812
第3期末 (2018年6月20日)	9,563	60	5.7	<u>正) 10,107</u> <u>誤) 9,828</u>	<u>正) 3.1</u> <u>誤) 2.4</u>	10,066	6.6	98.8	4,762
第4期末 (2018年9月20日)	9,751	60	2.6	<u>正) 10,290</u> <u>誤) 9,858</u>	<u>正) 1.8</u> <u>誤) 0.3</u>	10,725	6.6	99.0	3,712
第5期末 (2018年12月20日)	9,517	60	△1.8	<u>正) 9,376</u> <u>誤) 8,921</u>	<u>正) △8.9</u> <u>誤) △9.5</u>	10,472	△2.4	99.0	3,574

## ②「当作成期中の基準価額と市況の推移」(第1期(2017年12月20日)から第5期(2018年12月20日)まで)

決算期	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第1期	(設 定 日) 2017年9月15日	円 10,000	% -	10,000	% -	10,000	% -	% -
	9月末	9,834	△ 1.7	正)9,922 誤)9,914	正)△0.8 誤)△0.9	9,833	△ 1.7	99.2
	10月末	9,924	△ 0.8	正)10,180 誤)10,171	正)1.8 誤)1.7	9,969	△ 0.3	99.1
	11月末	10,039	0.4	正)10,087 誤)10,016	正)0.9 誤)0.2	10,165	1.6	99.2
	(期 末) 2017年 12月20日	10,254	2.5	正)10,361 誤)10,287	正)3.6 誤)2.9	10,642	6.4	99.1
第2期	(期 首) 2017年12月20日	10,194	-	正)10,361 誤)10,287	-	10,642	-	99.1
	12月末	10,219	0.2	正)10,644 誤)10,567	2.7	10,609	△ 0.3	99.0
	2018年 1月末	9,804	△ 3.8	正)10,670 誤)10,573	正)3.0 誤)2.8	10,238	△ 3.8	99.1
	2月末	9,227	△ 9.5	正)10,176 誤)10,024	正)△1.8 誤)△2.6	9,641	△ 9.4	99.0
	(期 末) 2018年 3月20日	9,162	△10.1	正)9,802 誤)9,598	正)△5.4 誤)△6.7	9,443	△11.3	99.0
第3期	(期 首) 2018年 3月20日	9,102	-	正)9,802 誤)9,598	-	9,443	-	99.0
	3月末	8,980	△ 1.3	正)9,546 誤)9,343	正)△2.6 誤)△2.7	9,273	△ 1.8	99.0
	4月末	9,101	△ 0.0	正)9,898 誤)9,686	正)1.0 誤)0.9	9,557	1.2	99.0
	5月末	9,308	2.3	正)9,903 誤)9,633	正)1.0 誤)0.4	9,909	4.9	98.9
	(期 末) 2018年 6月20日	9,623	5.7	正)10,107 誤)9,828	正)3.1 誤)2.4	10,066	6.6	98.8

YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド

決算期	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第4期	(期首) 2018年6月20日	9,563	-	<u>正)10,107</u> <u>誤)9,828</u>	-	10,066	-	98.8
	6月末	9,459	△ 1.1	<u>正)10,155</u> <u>誤)9,874</u>	0.5	10,016	△ 0.5	99.0
	7月末	9,618	0.6	<u>正)10,529</u> <u>誤)10,217</u>	<u>正)4.2</u> <u>誤)4.0</u>	10,336	2.7	98.9
	8月末	9,778	2.2	<u>正)10,620</u> <u>誤)10,229</u>	<u>正)5.1</u> <u>誤)4.1</u>	10,615	5.5	99.0
	(期末) 2018年9月20日	9,811	2.6	<u>正)10,290</u> <u>誤)9,858</u>	<u>正)1.8</u> <u>誤)0.3</u>	10,725	6.6	99.0
第5期	(期首) 2018年9月20日	9,751	-	<u>正)10,290</u> <u>誤)9,858</u>	-	10,725	-	99.0
	9月末	9,690	△ 0.6	<u>正)10,453</u> <u>誤)10,013</u>	1.6	10,547	△ 1.7	99.0
	10月末	9,066	△ 7.0	<u>正)9,385</u> <u>誤)8,987</u>	△ 8.8	9,930	△ 7.4	99.0
	11月末	9,696	△ 0.6	<u>正)9,839</u> <u>誤)9,365</u>	<u>正)△ 4.4</u> <u>誤)△ 5.0</u>	10,674	△ 0.5	99.0
	(期末) 2018年12月20日	9,577	△ 1.8	<u>正)9,376</u> <u>誤)8,921</u>	<u>正)△ 8.9</u> <u>誤)△ 9.5</u>	10,472	△ 2.4	99.0

※ 上記の訂正により、「ベンチマークとの差異について」(5頁)における「S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)」の騰落率 (棒グラフ)の読み替えをお願いいたします。

以上

# オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

## 運用報告書 (全体版)

第6期 (決算日 2019年2月15日)

第7期 (決算日 2019年5月15日)

(作成対象期間 2018年11月16日~2019年5月15日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの受益証券
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を全額分配し、売買益等は基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200指数 (配当込み、円換算)		S&PオーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率				
	円	円	%		%		%	%	%	%	百万円
1 期末 (2017年11月15日)	10,307	110	4.2	10,382	3.8	10,479	4.8	17.7	-	70.0	4,097
2 期末 (2018年 2 月15日)	9,275	100	△9.0	10,041	△3.3	9,735	△7.1	17.8	-	75.7	4,616
3 期末 (2018年 5 月15日)	9,593	120	4.7	10,421	3.8	10,212	4.9	18.0	-	78.8	4,801
4 期末 (2018年 8 月15日)	9,665	100	1.8	10,495	0.7	10,654	4.3	18.6	-	78.0	3,813
5 期末 (2018年11月15日)	9,655	120	1.1	9,989	△4.8	10,679	0.2	18.7	-	79.0	3,540
6 期末 (2019年 2 月15日)	9,895	90	3.4	10,060	0.7	11,252	5.4	19.7	-	78.0	3,554
7 期末 (2019年 5 月15日)	10,119	230	4.6	10,181	1.2	11,276	0.2	22.0	-	76.3	2,524

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

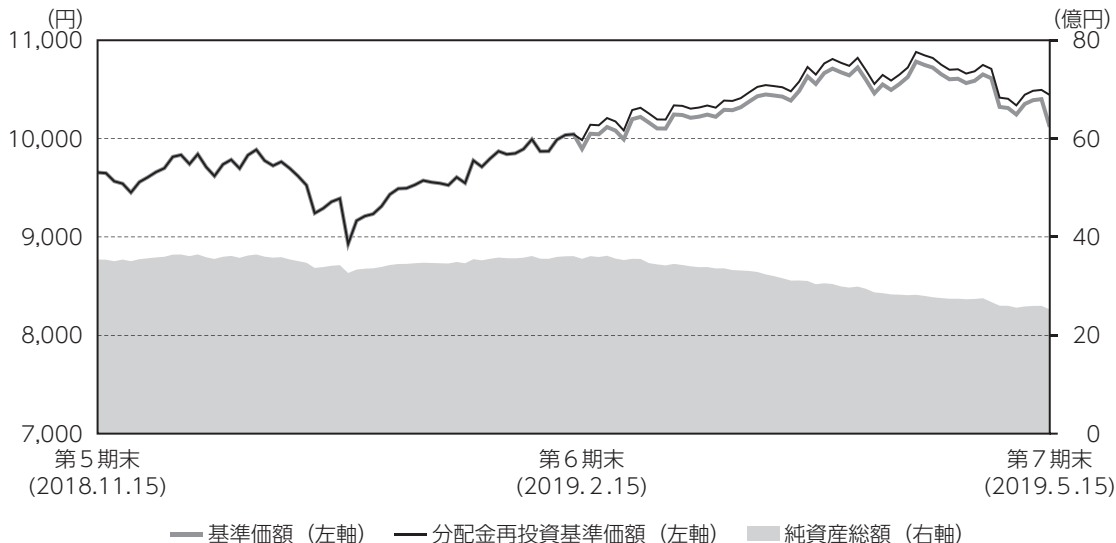
(注6) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第6期首：9,655円

第7期末：10,119円（既払分配金320円）

騰落率：8.2%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇したことがプラスに働き、基準価額は上昇しました。各国中央銀行がハト派寄りの姿勢を示したことを受けて、長期金利は低下傾向となり、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は堅調に推移しました。一方、弱いインフレ動向などを背景にRBA（オーストラリア準備銀行）による利下げ観測が広がり、オーストラリア・ドルが対円で下落したことはマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。



オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200 指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		S & P オーストラリア REIT 指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率					
第 6 期	(期首)2018年11月15日	円 9,655	% -	9,989	% -	10,679	% -	% 18.7	% -	% 79.0
	11月末	9,834	1.9	10,084	0.9	10,983	2.8	18.2	-	78.6
	12月末	9,391	△2.7	9,226	△7.6	10,466	△2.0	18.7	-	78.3
	2019年1月末	9,871	2.2	9,822	△1.7	11,190	4.8	18.9	-	78.0
	(期末)2019年2月15日	9,985	3.4	10,060	0.7	11,252	5.4	19.7	-	78.0
第 7 期	(期首)2019年2月15日	9,895	-	10,060	-	11,252	-	19.7	-	78.0
	2月末	10,103	2.1	10,382	3.2	11,317	0.6	19.1	-	78.6
	3月末	10,667	7.8	10,396	3.3	11,965	6.3	21.9	-	74.6
	4月末	10,613	7.3	10,713	6.5	11,776	4.7	22.0	-	76.1
	(期末)2019年5月15日	10,349	4.6	10,181	1.2	11,276	0.2	22.0	-	76.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2018.11.16～2019.5.15)

## ■オーストラリア・リアルアセット（※）市況

オーストラリアのリートやインフラ関連銘柄は上昇しました。

当作成期首から2018年12月にかけて、原油価格の下落や世界経済の減速懸念、米中間の貿易摩擦などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まりましたが、リートやインフラ関連銘柄は、長期金利が低下傾向になったこともあって安全資産として注目が高まり、おおむね堅調に推移しました。2019年1月から3月にかけては、1月にF R B（米国連邦準備制度理事会）議長が今後の利上げについて慎重姿勢を示したことや、2月にR B A（オーストラリア準備銀行）総裁が今後の金融政策についてより慎重な姿勢を示したこと、3月にE C B（欧州中央銀行）総裁が金融緩和を継続する姿勢を強く示したことなどから、先進国を中心に長期金利は低下し、リートやインフラ銘柄は上昇しました。4月から当作成期末にかけては、年初から低下し続けてきた長期金利が一時反発したことなどから、おおむね横ばいでの推移となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

## ■為替相場

オーストラリア・ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2019年1月初めにかけてのオーストラリア・ドル円為替相場は、米中貿易摩擦への懸念の高まりや世界経済の減速懸念、欧州の政治リスクなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、オーストラリア・ドルは円に対して大きく下落しました。1月半ばから4月前半にかけては、各国中央銀行がハト派寄りの姿勢を示したことを受けて投資家のリスク回避姿勢が後退し、オーストラリア・ドルは円に対して上昇する展開となりました。4月後半から当作成期末にかけては、オーストラリアの2019年1－3月のC P I（消費者物価指数）が市場想定よりも低い数字だったことから、R B A（オーストラリア準備銀行）による利下げ観測が広がり、オーストラリア・ドルは対円で下落傾向となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

## ■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

## ポートフォリオについて

(2018.11.16～2019.5.15)

## ■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

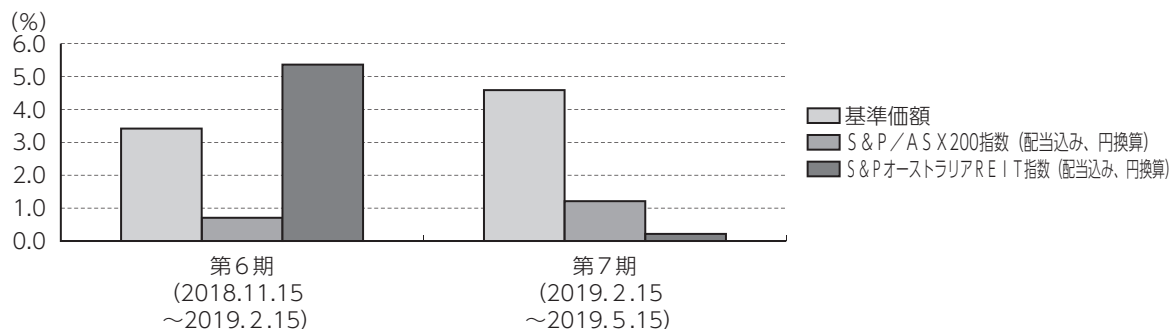
## ■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、シドニー都心に近く、良好なアクセスを持つシドニー空港を運営するSYDNEY AIRPORT（資本財・サービス）、オーストラリアで都市部を中心に大型のショッピングモールを運営するSCENTRE GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配金資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第6期	第7期
	2018年11月16日 ～2019年2月15日	2019年2月16日 ～2019年5月15日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>90</b>	<b>230</b>
対基準価額比率（％）	0.90	2.22
当期の収益（円）	90	130
当期の収益以外（円）	—	100
翌期繰越分配対象額（円）	236	139

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第6期	第7期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 103.56円	✓ 133.85円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	185.04	✓ 185.04
(d) 分配準備積立金	37.48	✓ 51.04
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	326.08	369.94
(f) 分配金	90.00	230.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	236.08	139.94

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第6期～第7期 (2018.11.16～2019.5.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	28円	0.275%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,025円です。
(投 信 会 社)	(26)	(0.257)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.005)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	10	0.095	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.015)	
(投資信託証券)	(8)	(0.080)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	5	0.051	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.023)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0.026)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	42	0.422	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2018年11月16日から2019年5月15日まで)

決算期	第6期～第7期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	50,182	55,800	1,110,335	1,364,700

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年11月16日から2019年5月15日まで)

項目	第6期～第7期	
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	177,179千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	649,512千円	
(c) 売買高比率(a)÷(b)	0.27	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第5期末		第7期末	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	3,093,675	2,033,522	2,512,417	2,512,417

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年5月15日現在

項目	第7期末	
	評価額	比率
	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	2,512,417	97.0
コール・ローン等、その他	78,174	3.0
投資信託財産総額	2,590,591	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月15日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=75.94円、1ニュージーランド・ドル=72.01円です。

(注3) オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドにおいて、第7期末における外貨建純資産(2,510,032千円)の投資信託財産総額(2,517,712千円)に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年2月15日)、(2019年5月15日)現在

項目	第6期末	第7期末
(A) 資産	3,594,130,678円	2,590,591,848円
コール・ローン等	54,537,635	74,074,815
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド(評価額)	3,537,093,043	2,512,417,033
未収入金	2,500,000	4,100,000
(B) 負債	39,307,375	65,629,455
未払収益分配金	32,334,393	57,393,573
未払解約金	1,999,999	3,999,999
未払信託報酬	4,925,147	4,147,561
その他未払費用	47,836	88,322
(C) 純資産総額(A-B)	3,554,823,303	2,524,962,393
元本	3,592,710,412	2,495,372,746
次期繰越損益金	△ 37,887,109	29,589,647
(D) 受益権総口数	3,592,710,412口	2,495,372,746口
1万口当り基準価額(C/D)	9,895円	10,119円

\*第5期末における元本額は3,667,386,303円、当作成期間(第6期～第7期)中における追加設定元本額は58,760,541円、同解約元本額は1,230,774,098円です。

\*第7期末の計算口数当りの純資産額は10,119円です。

## ■損益の状況

第6期 自2018年11月16日 至2019年2月15日  
 第7期 自2019年2月16日 至2019年5月15日

項 目	第 6 期	第 7 期
(A) 配当等収益	△ 2,151円	△ 2,226円
受取利息	48	451
支払利息	△ 2,199	△ 2,677
(B) 有価証券売買損益	124,021,274	117,489,188
売買益	127,264,690	166,559,590
売買損	△ 3,243,416	△ 49,070,402
(C) 信託報酬等	△ 4,975,444	△ 4,188,672
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	119,043,679	113,298,290
(E) 前期繰越損益金	△191,076,117	△ 72,489,576
(F) 追加信託差損益金	66,479,722	46,174,506
(配当等相当額)	( 1,303,765)	( 905,549)
(売買損益相当額)	( 65,175,957)	( 45,268,957)
(G) 合計(D+E+F)	△ 5,552,716	86,983,220
(H) 収益分配金	△ 32,334,393	△ 57,393,573
次期繰越損益金(G+H)	△ 37,887,109	29,589,647
追加信託差損益金	66,479,722	23,716,152
(配当等相当額)	( 1,303,765)	( 905,549)
(売買損益相当額)	( 65,175,957)	( 22,810,603)
分配準備積立金	18,340,088	11,204,327
繰越損益金	△122,706,919	△ 5,330,832

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 6 期	第 7 期
(a) 経費控除後の配当等収益	37,207,028円	33,401,157円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	66,479,722	46,174,506
(d) 分配準備積立金	13,467,453	12,738,389
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	117,154,203	92,314,052
(f) 分配金	32,334,393	57,393,573
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	84,819,810	34,920,479
(h) 受益権総口数	3,592,710,412口	2,495,372,746口

収益分配金のお知らせ		
	第 6 期	第 7 期
1万口当り分配金	90円	230円

<補足情報>

当ファンド（オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の決算日（2019年2月4日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第7期の決算日（2019年5月15日）現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を10～11ページに併せて掲載いたしました。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2018年11月16日から2019年5月15日まで)

買				売			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
				AGL ENERGY LTD (オーストラリア)	27.5	46,831	1,702
				AUSNET SERVICES (オーストラリア)	290	40,457	139
				MERIDIAN ENERGY LTD (ニュージーランド)	131	39,329	300
				CONTACT ENERGY LTD (ニュージーランド)	60	30,732	512
				ATLAS ARTERIA (オーストラリア)	35	19,828	566

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2018年11月16日から2019年5月15日まで)

買				売			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROMWELL PROPERTY GROUP (オーストラリア)	150	12,498	83	GOODMAN GROUP (オーストラリア)	136	138,280	1,016
				TRANSURBAN GROUP (オーストラリア)	127	127,784	1,006
				SYDNEY AIRPORT (オーストラリア)	181	104,314	576
				STOCKLAND (オーストラリア)	235	68,465	291
				GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR (オーストラリア)	175	56,755	324
				ARENA REIT (オーストラリア)	259.3	56,027	216
				SCENTRE GROUP (オーストラリア)	168	52,517	312
				NATIONAL STORAGE REIT (オーストラリア)	320.072	44,307	138
				MIRVAC GROUP (オーストラリア)	200	41,622	208
				SPARK INFRASTRUCTURE GROUP (オーストラリア)	220	38,707	175

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。



■組入資産明細表

下記は、2019年5月15日現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンド（2,034,443千口）の内容です。

(1) 外国株式

銘柄	2019年5月15日現在			業種等
	株数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	千円	千円	
AUSNET SERVICES	3,050.91	559	42,514	公益事業
AGL ENERGY LTD	630	1,416	107,549	公益事業
ATLAS ARTERIA	1,525.32	1,107	84,094	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	5,206.23 3銘柄	234,158 < 9.3%>	
(ニュージーランド)	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	2,320	970	69,915	公益事業
MERCURY NZ LTD	590	227	16,378	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	4,064.03	1,257	90,575	公益事業
TRUSTPOWER LTD	116	80	5,805	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	2,680	1,940	139,722	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	9,770.03 5銘柄	322,397 < 12.8%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	14,976.26 8銘柄	556,555 < 22.1%>	

(注1) 邦貨換算金額は、2019年5月15日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	2019年5月15日現在		
	口数	評価額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千円	千円
CHARTER HALL EDUCATION TRUST	136.093	496	37,722
CROMWELL PROPERTY GROUP	143.076	167	12,712
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	150.743	449	34,113
AVENTUS GROUP	136.809	309	23,479
RURAL FUNDS GROUP	102.367	229	17,413
VIVA ENERGY REIT	30.945	77	5,851
CENTURIA METROPOLITAN REIT	351.314	899	68,297
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIEL/CDI	13	149	11,372
TRANSURBAN GROUP	222.862	3,050	231,691
SYDNEY AIRPORT	236	1,833	139,252
APA GROUP	176.847	1,794	136,312
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	284	639	48,525
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	168.919	724	55,030
NATIONAL STORAGE REIT	126.005	218	16,601
SCENTRE GROUP	488	1,825	138,599
ARENA REIT	254.893	690	52,456
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	62.544	211	16,053
DEXUS	136	1,720	130,647
GPT GROUP	174.7	1,027	78,008
CHARTER HALL RETAIL REIT	27.859	126	9,583
MIRVAC GROUP	564	1,635	124,207
STOCKLAND	351.055	1,355	102,904
GOODMAN GROUP	227.1	3,031	230,233
VICINITY CENTRES	368	945	71,821
CHARTER HALL GROUP	161	1,666	126,542
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	5,094.131 25銘柄	25,275 < 76.4%>
(ニュージーランド)	千口	千円	千円
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	90	6,539
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	37	2,699
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	128 < 0.4%>
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	5,174.103 27銘柄	1,928,674 < 76.7%>

(注1) 邦貨換算金額は、2019年5月15日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

# オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

## 運用報告書 第5期（決算日 2019年2月4日）

（作成対象期間 2018年8月4日～2019年2月4日）

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
株式組入制限	無制限

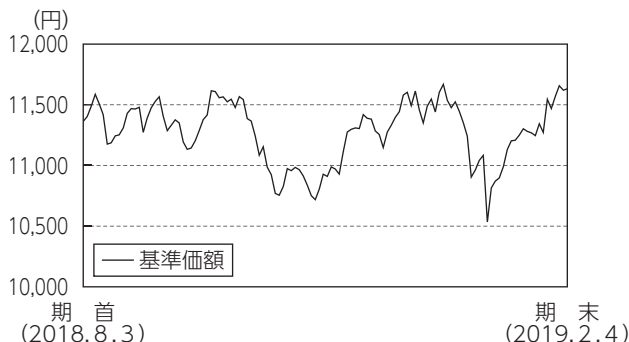
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算)		S & PオーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 券 組 入 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2018年 8月 3日	11,363	-	13,277	-	11,136	-	18.7%	-	78.9%
8月末	11,407	0.4	13,331	0.4	11,284	1.3	17.5	-	79.3
9月末	11,477	1.0	13,245	△ 0.2	11,301	1.5	18.1	-	79.6
10月末	10,928	△3.8	12,201	△ 8.1	10,840	△2.7	18.0	-	79.6
11月末	11,603	2.1	12,607	△ 5.0	11,480	3.1	18.3	-	79.0
12月末	11,083	△2.5	11,535	△13.1	10,939	△1.8	18.8	-	78.7
2019年 1月末	11,657	2.6	12,280	△ 7.5	11,696	5.0	19.0	-	78.3
(期末)2019年 2月 4日	11,632	2.4	12,264	△ 7.6	11,503	3.3	19.2	-	78.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,363円 期末：11,632円 騰落率：2.4%

【基準価額の主な変動要因】

オーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄が上昇したことがプラスに働きました。米中間での貿易政策をめぐる緊張感の高まりや世界経済の減速懸念などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まる中、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は、安全資産として投資家の注目が高まり、堅調に推移しました。一方で、投資家のリスク回避姿勢の高まりなどを背景にオーストラリア・ドルが対円で下落したことがマイナスに働きました。

◆投資環境について

○オーストラリア・リアルアセット (※) 市況

オーストラリア・リアルアセット市況は堅調に推移しました。

当作成期首から2018年9月半ばにかけて、企業決算において好調なファンダメンタルズが確認された物流施設リートやオフィスリートなどを中心に、堅調な推移となりました。9月半ばから10月にかけては、堅調な米国経済を背景に米国長期金利が上昇したことや、米国の中間選挙を前にした米国金利上昇の影響や欧州の政治リスク、中国経済の減速、米中間の貿易摩擦などを背景に、軟調な推移となりました。11月から当作成期末にかけては、大きな波乱なく米国の中間選挙を終え、不確定要素が一つ消えたことによる安心感などから投資家のリスク回避姿勢が後退したこと、原油価格の下落や世界経済の減速懸念などから長期金利が下落傾向になったことなどを背景に、堅調に推移しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

## ○為替相場

オーストラリア・ドル為替相場は対円で下落しました。

当作成期首から2018年9月前半にかけて、米中間での貿易政策をめぐる緊張感の高まりなどを受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、オーストラリア・ドルは対円で下落傾向となりました。また、トルコ・リラが急落するなど新興国を中心に投資家のリスク回避姿勢が強まったことも、オーストラリア・ドルにはネガティブに働きました。9月後半から11月にかけては、米国の中間選挙が大きな波乱なく終わり、米中間の貿易摩擦改善への期待が高まったことなどから、オーストラリア・ドルは対円で上昇傾向となりました。12月から2019年1月初めにかけては、米中の貿易摩擦への懸念の高まりや世界経済の減速懸念、欧州の政治リスクなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、オーストラリア・ドルは対円で下落しました。1月初めから当作成期末にかけては、F R B（米連邦準備制度理事会）議長が今後の利上げについて慎重姿勢を示したことなどから、投資家のリスク回避姿勢が後退し、オーストラリア・ドルは対円で上昇傾向となりました。

## ◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

## ◆ポートフォリオについて

オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、シドニー都心に近く、良好なアクセスを持つシドニー空港を運営するSYDNEY AIRPORT（資本財・サービス）、オーストラリアで都市部を中心に大型のショッピングモールを運営するSCENTRE GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

## ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

## 《今後の運用方針》

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

## ■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	5円 (1) (4)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	8 (3) (5)
合計	13

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ■売買および取引の状況

## (1) 株 式

(2018年8月4日から2019年2月4日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 ( 180.91)	千オーストラリア・ドル ( 6)	百株 460	千オーストラリア・ドル 970
	ニュージーランド	百株 (△ 16)	千ニュージーランド・ドル (△3)	百株 —	千ニュージーランド・ドル —

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## (2) 投資信託証券

(2018年8月4日から2019年2月4日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	オーストラリア	千口 295 (179.733)	千オーストラリア・ドル 832 (628)	千口 ( 1,301.22 —)	千オーストラリア・ドル 6,121 ( —)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

■主要な売買銘柄

(1) 株式

(2018年8月4日から2019年2月4日まで)

当					期				
買			付		売			付	
銘柄	株数	金額	平均単価		銘柄	株数	金額	平均単価	
	千株	千円	円			千株	千円	円	
					AGL ENERGY LTD (オーストラリア)	46	78,223	1,700	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2018年8月4日から2019年2月4日まで)

当					期				
買			付		売			付	
銘柄	口数	金額	平均単価		銘柄	口数	金額	平均単価	
	千口	千円	円			千口	千円	円	
DEXUS (オーストラリア)	45	37,165	825		APA GROUP (オーストラリア)	120	94,401	786	
RURAL FUNDS GROUP (オーストラリア)	100	16,964	169		STOCKLAND (オーストラリア)	220	71,816	326	
CROMWELL PROPERTY GROUP (オーストラリア)	150	12,498	83		TRANSURBAN GROUP (オーストラリア)	74	70,047	946	
					SPARK INFRASTRUCTURE GROUP (オーストラリア)	330	61,287	185	
					UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIEL/CDI (フランス)	55.94	54,446	973	
					GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR (オーストラリア)	90	27,254	302	
					ARENA REIT (オーストラリア)	126.509	23,890	188	
					CENTURIA INDUSTRIAL REIT (オーストラリア)	81.771	19,903	243	
					GPT GROUP (オーストラリア)	40	17,036	425	
					CHARTER HALL GROUP (オーストラリア)	30	16,520	550	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円	千円	
AUSNET SERVICES	5,770	5,950.91	984	77,982	公益事業
AGL ENERGY LTD	1,365	905	1,951	154,494	公益事業
ATLAS ARTERIA	1,875.32	1,875.32	1,258	99,635	貴族・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	9,010.32 3銘柄	8,731.23 3銘柄	4,194 332,112	< 9.4%>
(ニュージーランド)	百株	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	3,630	3,630	1,306	98,663	公益事業
MERCURY NZ LTD	590	590	209	15,813	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	4,064.03	4,064.03	1,074	81,157	公益事業
TRUSTPOWER LTD	116	116	72	5,500	公益事業
TILT RENEWABLES LTD	16	-	-	-	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	3,280	3,280	1,981	149,574	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	11,696.03 6銘柄	11,680.03 5銘柄	4,645 350,709	< 9.9%>
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	20,706.35 9銘柄	20,411.26 8銘柄	- 682,821	<19.2%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

銘柄	期首		期末		
	□数	□数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
INVESTA OFFICE FUND	千口	千口	千円	千円	
CHARTER HALL RETAIL REIT	50	27	-	-	
MIRVAC GROUP	27	27	121	9,641	
STOCKLAND	764	764	1,833	145,184	
ABACUS PROPERTY GROUP	806.055	586.055	2,203	174,478	
GOODMAN GROUP	90	90	331	26,224	
GOODMAN GROUP	363.1	350.1	4,068	322,117	
VICINITY CENTRES	523	523	1,354	107,254	
CHARTER HALL GROUP	206	176	1,448	114,690	
オーストラリア・ドル 通貨計	□数、金額 銘柄数<比率>	9,308.231 28銘柄	8,481.744 28銘柄	34,965 2,768,585	<78.0%>
(ニュージーランド)	千口	千口	千円	千円	
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	58.972	84	6,344	
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	21	33	2,528	
ニュージーランド・ドル 通貨計	□数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	79.972 2銘柄	117 8,873	< 0.3%>
合計	□数、金額 銘柄数<比率>	9,388.203 30銘柄	8,561.716 30銘柄	- 2,777,458	<78.3%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年2月4日現在

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		期末	
	□数	□数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	千円	千円
CHARTER HALL EDUCATION TRUST	224.468	230.809	722	57,202
CROMWELL PROPERTY GROUP	124	293.076	310	24,598
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	219.999	148.467	408	32,327
AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND	183.129	183.129	384	30,450
RURAL FUNDS GROUP	-	101.19	222	17,626
VIVA ENERGY REIT	30	30	67	5,344
PROPERTYLINK GROUP	618.431	618.431	717	56,802
CENTURIA METROPOLITAN REIT	411.314	411.314	978	77,511
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIEL/CDI	81.94	26	321	25,445
TRANSURBAN GROUP	352.405	332.862	4,064	321,806
SYDNEY AIRPORT	437	417	2,748	217,589
APA GROUP	331.847	211.847	1,965	155,663
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	834	504	1,234	97,771
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	402.876	343.919	1,317	104,296
NATIONAL STORAGE REIT	444.255	435.303	781	61,868
SCENTRE GROUP	656	656	2,578	204,132
ARENA REIT	613.168	502.998	1,348	106,737
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	102.544	102.544	315	25,007
BWP TRUST	57	57	208	16,518
DEXUS	100	145	1,667	132,032
GPT GROUP	254.7	214.7	1,240	98,259

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
投資信託証券	682,821	19.2
コール・ローン等、その他	2,777,458	78.1
投資信託財産総額	3,557,810	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月4日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=79.18円、1ニュージーランド・ドル=75.50円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,543,612千円)の投資信託財産総額(3,557,810千円)に対する比率は、99.6%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年2月4日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,571,269,552円
コール・ローン等	69,280,949
株式(評価額)	682,821,343
投資信託証券(評価額)	2,777,458,595
未収入金	13,471,310
未収配当金	28,237,355
(B) 負債	22,071,712
未払金	13,458,900
未払解約金	8,600,000
その他未払費用	12,812
(C) 純資産総額(A - B)	3,549,197,840
元本	3,051,116,356
次期繰越損益金	498,081,484
(D) 受益権総口数	3,051,116,356口
1万口当り基準価額(C / D)	11,632円

\*期首における元本額は3,530,435,325円、当作成期間中における追加設定元本額は70,599,166円、同解約元本額は549,918,135円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド(適格機関投資家専用) 3,050,195,388円、オーストラリア・リアルアセット・ファンド920,968円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は11,632円です。

## ■損益の状況

当期 自2018年8月4日 至2019年2月4日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	87,683,875円
受取配当金	87,545,388
受取利息	144,912
支払利息	△ 6,425
(B) 有価証券売買損益	△ 634,541
売買益	217,076,337
売買損	△217,710,878
(C) その他費用	△ 2,381,249
(D) 当期損益金(A + B + C)	84,668,085
(E) 前期繰越損益金	481,294,430
(F) 解約差損益金	△ 75,781,865
(G) 追加信託差損益金	7,900,834
(H) 合計(D + E + F + G)	498,081,484
次期繰越損益金(H)	498,081,484

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

# ダイワ・マネー ポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)

## 運用報告書 (全体版) 第2期

(決算日 2018年12月10日)  
(作成対象期間 2017年12月12日~2018年12月10日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド (以下「マザーファンド」といいます。) の受益証券 ロ. 円建ての債券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	



## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先 物比率	純資 産額
	(分配落)	税 分 込 配 金	期 騰 落 中 率			
1期末（2017年12月11日）	円 9,991	円 0	% △0.1	% —	% —	百万円 0
2期末（2018年12月10日）	9,963	0	△0.3	—	—	1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

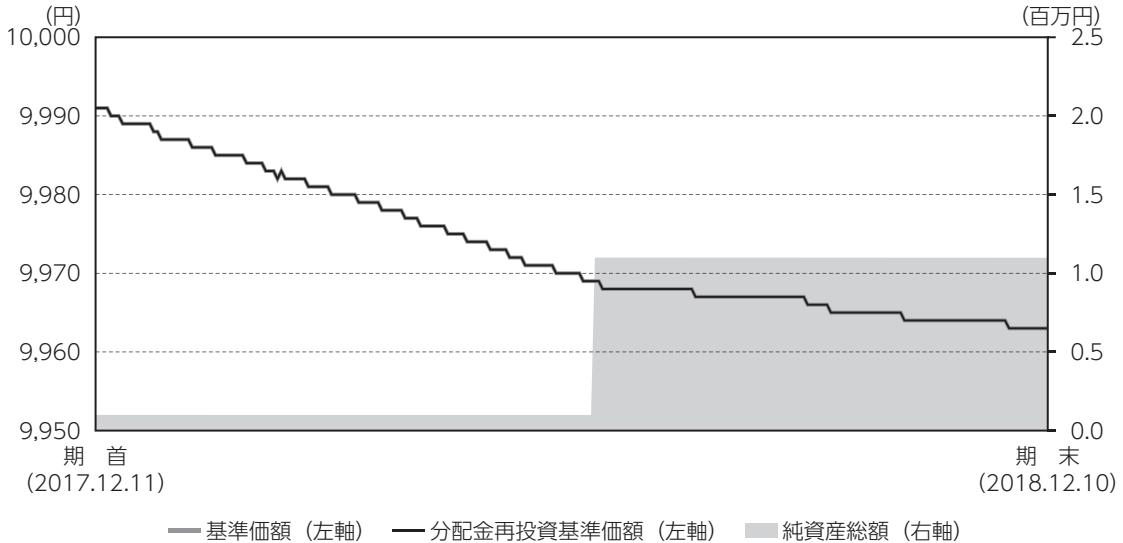
(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注5) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,991円

期末：9,963円（分配金0円）

騰落率：△0.3%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券を通じて投資した短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2017年12月11日	円 9,991	% -	% -	% -
12月末	9,989	△0.0	-	-
2018年 1 月末	9,985	△0.1	-	-
2 月末	9,982	△0.1	0.4	-
3 月末	9,979	△0.1	-	-
4 月末	9,975	△0.2	-	-
5 月末	9,971	△0.2	-	-
6 月末	9,968	△0.2	-	-
7 月末	9,967	△0.2	-	-
8 月末	9,967	△0.2	-	-
9 月末	9,965	△0.3	-	-
10月末	9,964	△0.3	-	-
11月末	9,963	△0.3	-	-
(期末) 2018年12月10日	9,963	△0.3	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2017.12.12~2018.12.10)

### ■国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。そのため、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資します。

## ポートフォリオについて

(2017.12.12~2018.12.10)

### ■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年12月12日 ～2018年12月10日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	—

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。

上記の運用方針により、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資する場合があります。今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017.12.12~2018.12.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	—	—	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,973円です。
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	11	0.111	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(6)	(0.061)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(5)	(0.050)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	11	0.111	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	1,019	1,024	-	-

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	69	1,089	1,093	1,093

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	1,093	99.5
コール・ローン等、その他	5	0.5
投資信託財産総額	1,099	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,099,182円
コール・ローン等	5,512
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	1,093,670
(B) 負債	182
その他未払費用	182
(C) 純資産総額(A - B)	1,099,000
元本	1,103,110
次期繰越損益金	△ 4,110
(D) 受益権総口数	1,103,110口
1万口当り基準価額(C/D)	9,963円

\* 期首における元本額は100,000円、当作成期間中における追加設定元本額は1,003,110円、同解約元本額は0円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,963円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,110円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 539円
売買損	△ 539
(B) 信託報酬等	△ 371
(C) 当期損益金(A + B)	△ 910
(D) 前期繰越損益金	△ 90
(E) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	△3,110 (△3,110)
(F) 合計(C + D + E)	△4,110
次期繰越損益金(F)	△4,110
追加信託差損益金 (売買損益相当額)	△3,110 (△3,110)
繰越損益金	△1,000

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	0
(h) 受益権総口数	1,103,110口

# ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

## 運用報告書 第10期 (決算日 2018年12月10日)

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

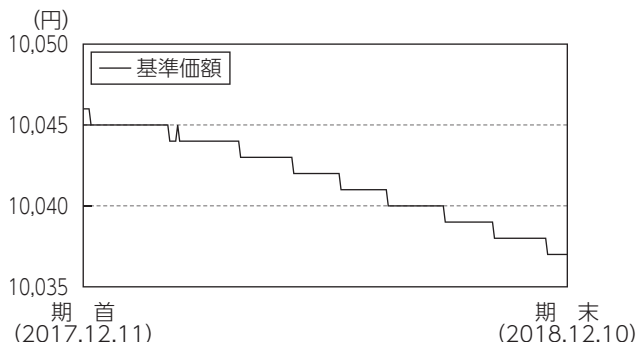
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>



# ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

## ■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債比率
	円	騰落率 %	
(期首)2017年12月11日	10,046	-	-
12月末	10,045	△0.0	-
2018年 1 月末	10,045	△0.0	-
2 月末	10,044	△0.0	0.5
3 月末	10,044	△0.0	-
4 月末	10,043	△0.0	-
5 月末	10,042	△0.0	-
6 月末	10,041	△0.0	-
7 月末	10,040	△0.1	-
8 月末	10,040	△0.1	-
9 月末	10,039	△0.1	-
10 月末	10,038	△0.1	-
11 月末	10,037	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,037	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 《運用経過》

### ◆ 基準価額等の推移について

#### 【基準価額・騰落率】

期首：10,046円 期末：10,037円 騰落率：△0.1%

#### 【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

### ◆ 投資環境について

#### ○ 国内短期金融市場

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量の・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

### ◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

### ◆ ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

### ◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	3 (3)
合計	3

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。  
 (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

## ■ 売買および取引の状況

### 公社債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買付額	売付額
国		千円	千円
内	国債証券	900,005	(900,000)

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

## ■ 主要な売買銘柄

### 公社債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘柄	金額	銘柄	金額
723 国庫短期証券 2018/3/5	400,003 千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	290,001		
731 国庫短期証券 2018/7/10	210,000		

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	69,363,521	100.0
投資信託財産総額	69,363,521	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	69,363,521,826円
コール・ローン等	69,363,521,826
(B) 負債	4,205,708
その他未払費用	4,205,708
(C) 純資産総額(A - B)	69,359,316,118
元本	69,103,393,644
次期繰越損益金	255,922,474
(D) 受益権総口数	69,103,393,644口
1万口当り基準価額(C / D)	10,037円

\* 期首における元本額は126,824,072,530円、当作成期間中における追加設定元本額は34,268,505,333円、同解約元本額は91,989,184,219円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・ブルファンド（適格機関投資家専用）688,792,367円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）13,951,738,463円、ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）1,089,639円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-07（為替ヘッジあり）1,247,428,788円、通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10（為替ヘッジあり）267,324,664円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10（為替ヘッジあり）II 74,557,679円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12（為替ヘッジあり）207,961,746円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-02（為替ヘッジあり/限定追加型）158,901,180円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-08（為替ヘッジあり/限定追加型）1,350,789,013円、オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定率分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース）9,963円、ダイワJPX日経400ベア・ファンド（適格機関投資家専用）3,783,296,400円、AHLターゲットリスクリイト戦略ファンド（適格機関投資家専用）1,692,026,279円、ダイワユーロベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）852,128,164円、ダイワ米ドルベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）33,557,519,292円、ダイワ/ロジャーズ国際コモディティ<sup>TM</sup>・ファンド5,408,343円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワTOPIXベア・ファンド（適格機関投資家専用）11,262,889,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USストライアングル - 997,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型 - 173,802円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,037円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 40,939,945円
受取利息	308,822
支払利息	△ 41,248,767
(B) 有価証券売買損益	△ 2
売買損	△ 2
(C) その他費用	△ 26,534,819
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 67,474,766
(E) 前期繰越損益金	577,677,502
(F) 解約差損益金	△399,394,006
(G) 追加信託差損益金	145,113,744
(H) 合計(D + E + F + G)	255,922,474
次期繰越損益金(H)	255,922,474

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。